

特集 組合・企業紹介

協同組合広島県鉄構工業会

業界のイメージ刷新により 技術者とデジタル人材の 確保を目指す

代表理事
山本 泰徳 氏



動画で業界イメージを刷新

我々鉄骨加工業者(以下FAB)は、1件毎の積算見積りから、図面に基づき鋼材を切断・溶接し、ビルや工場、道路や橋の骨組みとなる鉄骨を製作しています。ビルや橋梁などの社会インフラを支える、無くてはならない重要な役割を果たしているとの自尊心を持ち、日々の業務に取り組んでいます。

組合は現在、県内FABの約9割の企業が組織されており、組合の役割は業界全体の課題解決に向けた事業を実施することだと考えています。

現在、業界が抱える大きな課題は、慢性的な人材不足です。特に、従業員

の高齢化と若年労働者不足が課題となっています。そこで、何年も前から、若年者の確保に向け、ポスターや冊子、HPの製作など、あの手この手を使って人材確保の取り組みを続けていますが、いっこうに効果が見えない状況です。そこで、このたび、ネットやスマホの利用が大きく進んだことから、五感で理解しやすい動画製作に取り組みました。

製作に当たっては、組合内にプロジェクトチームをつくり何度も議論を重ねました。鉄骨工場の「きつい」「きたない」「危険」といったいわゆる3Kをゾンビに見立てて、女性戦士が果敢にゾンビに挑んで3Kを払拭するというス



トーリーになっています。さらに、動画はホラー映画のような始まりで、視聴者にインパクトを与え、興味を引きつけるという効果も狙いました。組合員企業の工場を舞台に従業員自らが出演してストーリーが展開することもあり、業界には女性も若者も、面白い人たちもたくさんいて、「こんなワクワクする働き方が出来る」というメッセージを伝える動画としています。動画を通じ、特に若年者や女性が業界を身近に感じ、自らの職場候補の選択肢にもらえることを期待しています。2月中旬から当組合HP上で動画を配信していますので、是非ご覧ください。

人材の流動化を契機に “人財”を受け入れる

新型コロナウイルス感染症の拡

大は予想外のパラダイムシフトを引き起こし、終息後も産業構造を大きく変えるニューノーマルの時代が到来すると言われています。コロナ禍以前から人材の流動化が進みつつあると言われておりましたが、コロナ禍を契機にさらなる人材の流動化が予想されます。我々が求職者に選ばれる業界となるためにはこのタイミングを逃さず、色々な手段を講じていく必要があります。その取組みの1つが先ほどご紹介した動画製作です。また、一部の組合員では、外国人技能実習生の育成を通じて、技能・技術を含めた企業文化の継承に取り組んでいます。現在、3分の1の組合員が、様々な技能実習生の受入組合に加入して外国人技能実習生を受け入れています。技術や知識を習得して自国の経済発展に貢献したいといった「やる気」のある実習生が多く、溶接等の技能検定も積極的に受験し、高い合格率を誇っており、各社において十分に戦力として活躍しています。

技能実習生は最長でも5年後には帰国しますが、実習生から次の実習生へと各社の伝統を引き継ぐことで、各社にノウハウを蓄積することが出来ていると考えています。

しかし、一方で、文化や言葉の違いを埋める努力をしないと、コミュニケーション不足からせっかくの人材を活かしきれないという課題があります。そこで、組合では組合員企業に対して技能実習生を単に労働力としてではなく、実習生自身の成長と自社の成長を促す“人財”として向き合

うよう、今後もサポートを充実していきます。

コロナ禍による人のさらなる流動化をチャンスと捉えた人材の確保、さらには、技能実習生を開発途上国等の人づくりと同時に各社の成長・発展に寄与する人財として位置づけることで、活力ある職場へと変革することを期待しています。

次代を担うデジタル人材の採用・育成

鉄骨加工業界は、ゼネコン等総合建設業者からの請負業であるため、景気の好不況による浮き沈みが激しい業界です。

30年前、日本の製造業者の多くが工場を海外に移転し、国内産業の空洞化が叫ばれました。その結果、雇用が失われ、技術の海外流出が問題となりました。最近では、国内回帰の動きが出てきましたが、歴史は繰り返すと言われる。今対策を打たないと、将来、経営が成り立たない事業者が増え、FABも日本国内からなくなる時代がくることも危惧されます。国内でFABが社会インフラの担い手として存続するために、今、我々が何をすべきかが問われています。

このたびの動画製作等の取組みにより、有能な若手人材を採用・育成し、技術力を向上させることで受注の機会損失を防ぎ、安定的な収益確保を目指すとともに、近い将来、鉄骨加工業界においてもDX(デジタルトランスフォーメーション)や、特に3



D空間にモデルを構築し全ての情報を管理・活用するBIM(ビルディングインフォメーションモデリング)を推進できる優秀な技術者を育成・確保し、生産性を格段に高めることが必要です。こうした結果、低賃金からの脱却とブルーカラー労働者の職種イメージが大きく刷新されることでしょう。

我々は、過去から受け継いだ技能や技術を伝承し即戦力となる人材と、将来を担うデジタル人材の育成・確保の両面にアプローチし、目の前の経営と業界の将来を見据えた人材育成を通じて鉄骨加工業界の発展に貢献していく覚悟です。

(取材:情報調査部 原田)

協同組合広島県鉄構工業会

〒733-0003
広島市西区三篠町1丁目13-9
中谷ビル2F
TEL : 082-238-6539
FAX : 082-238-8326
URL : <https://hsfa.jp/>
(動画配信サイト)